

工事中 交通開放時の路面排水の確保

事例の概要

舗装修繕工事において、下層路盤工が仕上がった段階で一旦交通開放を行いました。両サイドの側溝は、既に設計高で施工済みの状態でした。その日に、夕立があり、多量の雨が降りました。交通開放した段階では、特段、路面排水対策をしていなかったため、設置してある側溝に排水ができず、行き場所がない雨水が、下層路盤上に溜まり、車両等の通行に支障を来たしてしまいました。

対応策と教訓

- ・ 応急措置として、ポンプで排水をしながら交通誘導員により安全に通行を促しました。上層路盤、アスファルト舗装の施工を行うまでの間は、排水対策を実施しました。
- ・ 施工途中で交通開放する現場では、天候等を考慮し、適切な排水対策をすることが必要です。

原因

交通開放する下層路盤の高さに応じた排水対策をしていませんでした。

解説図

